

【2023年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
福祉心理学専門演習Ⅰ	HSP33-010	必修	2	3	前期		
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー			
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi		月曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	<目的>自分自身が目指す将来像を整理するために、心理学に基づく自己分析を行い、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解し、必要な知識や技術を身につけることを目的とする。 <概要>自己及び人間社会を理解するために、キャリア心理学に関するワーク及び調査・分析、グループワークを行い、その結果に関するプレゼンテーションを実施し意見交換をする等の演習を行う。						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他（　）	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるように、心理学の知識を活かし自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的な参加を求める。						
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書	特になし。						
外部教材	特になし。						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	キャリア心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HC(5)			
②	心理学の専門的知識を活かし、自己について理解することができる。			HC(4)			
③	心理学の専門的知識を活かし、人間社会の現象を理解することができる。			HC(5)			
④	多面的かつ効果的な工夫を凝らして、成果を発表することができる。			HC(3)			
授業計画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)				
1	オリエンテーション キャリア心理学について学ぶ。	講義・演習	自己理解の基本となる自己分析について学ぶ。		2		
2	キャリア心理学(1) 自己理解について学ぶ①。	講義・演習	自分の性格特徴について自己理解を深める。		2		
3	キャリア心理学(1) 自己理解について学ぶ②。	講義・演習	自己理解に関する知識を各自整理する。		2		
4	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ①。	講義・演習	自己理解を踏まえ関心のある産業に関する知識について総合的に学ぶ。		2		
5	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ②。	講義・演習	各グループで関心のある産業に関する調査を行い、結果を整理、考察し発表準備を行う。		3		
6	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ③。	講義・演習	発表準備、リハーサルを行う。		4		
7	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ④。	プレゼンテーション	各グループ、発表及び討論を行う。発表及び討議を踏まえ、内容について整理する。		4		
8	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑤。	講義・演習	整理した内容を踏まえ、各自で理解を深める。		3		
9	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑥。	講義・演習	自分自身の社会での表現方法について学び振り返りを行う。		3		
10	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑦。	講義・演習	学びの振り返りを整理、考察し、まとめる。		3		
11	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑧。	講義・演習	発表の準備、リハーサルを行う。		4		
12	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑨。	プレゼンテーション	各自、発表、討論を行う。発表、討議を踏まえ、再度内容について各自で整理する。		6		
13					6		
14					6		

【2023年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

15	総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を各自で整理する。	10					
試	評価のポイント参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		0	0	60	0	40	100		
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	10	20		
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	40	0	0	40		
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	① ✓	2回の発表内容について、キャリア心理学に関する基本的な理論や知識を理解できているか、相手に伝わる表現方法ができているか、などについて評価する。			発表後に各自に講評及び解説や補足のコメントを行う。				
	② ✓								
	③ ✓								
	④ ✓								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	① ✓	ワークのまとめに関しては、コメントに沿った内容が記述できているか、読者に伝わる表現法が選ばれているかという観点で評価する。ワーク、討議の取り組みや授業へ意欲的に参加しているか、発表において他学生とのコミュニケーション力を發揮できているかについて評価する。			ワークに関しては各自にコメントを付し返却し、授業内で講評を行う。発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。				
	② ✓								
	③ ✓								
	④ ✓								
	⑤								
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	鈴木 真吾、宇賀 美奈子、高田 肇								
教員の実務経験	なし								
実践的授業の内容	該当せず								
そ の 他	学生は必ずいづれかの担当教員のクラスに所属すること。 生成AI(ChatGPT等)を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。従わない場合は面接授業の参加を認めない場合もある。演習期間内でマイナビ就活講座の開講を予定している。 なお、今後の新型コロナウィルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われる場合もある。								